

大学図書館における 情報リテラシー教育の実際

千葉大学附属図書館

尾城 孝一

ojiro@ll.chiba-u.ac.jp

アウトライン

- 情報リテラシーとは何か
- 大学図書館における展開
- 事例(千葉大学附属図書館)の紹介
- 課題と展望

情報リテラシーとは何か

リテラシー

- 生活言語で短く簡単な文章を読み書きする能力
- 3R(Reading, (W)Riting, (A)Rithmetic)
- 「読み・書き・そろばん(計算)」

機能的リテラシー

- 「日常生活・職業生活の中で、また地域社会の発展のために、役立てることのできるような基礎学力のこと」(『新教育学大辞典 第6巻』第一法規, 1990, p.499-500)

情報リテラシー

- 「情報社会」における機能的リテラシーの一種
- 「情報社会」において生活していくのに不可欠な知識や技能

類縁概念

- コンピュータリテラシー
 - コンピュータで何ができるのか, できないのかを知ること
 - プログラミングの修得やハードウェアの知識
 - ネットワーク通信や各種アプリケーションを利用して, 情報の収集・整理・発信等を行うための能力

類縁概念(続き)

- メディアリテラシー
 - マスメディアから情報を批判的に解釈しながら受け取る能力
 - 種々の情報メディア(特に電子メディア)の「使い方」

情報リテラシーとの関わり

- 「コンピュータ」という「メディア」を使って「情報」を活用する，すなわち探索，整理，分析，発信する能力

図書館における定義

- 米国図書館協会(American Library Association: ALA)情報リテラシー諮問委員会の最終報告書(1989)
 - 「情報リテラシーとは、情報が必要なときそれを認識する能力、および、必要な情報の発見、評価、利用を効果的に行う能力である。…」

図書館における定義(続き)

- 米国情報リテラシー・フォーラム(National Forum on Information Literacy: NFIL)調査報告(1992)
 - 「さまざまな情報源から情報にアクセスし, 評価し, 利用する能力」
 - 情報リテラシーを身に付けた人の持つ属性(10項目)

図書館における定義(続き)

- 日本図書館協会図書館利用教育委員会(1999)
 - 「情報探索法・整理法・表現法などを含む総合的な情報活用能力。コンピュータ利用能力だけでなく、情報の評価および情報倫理の理解も含めて、あらゆる情報の活用が可能な能力をいう。図書館利用能力も大きな部分をしめている。」

大学図書館における展開

大学図書館における実態

- 橋洋平「大学・高専図書館における情報リテラシー教育」(平成12年度科学研究費補助金奨励研究(B))
 - <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Club/4479/>
 - 平成12年7月から8月に実施
 - 回収率73.4%
 - 調査結果
 - 新入生オリエンテーションの実施率
 - 全ての館種で90%を越える
 - 科目としての情報リテラシー教育への参加率
 - 全体で16%, 国立大学で40%
 - その他の利用教育(ワークショップ型, ゼミの要望に応じて)の実施率
 - 全体で59%
 - 情報リテラシー教育の開始年
 - 1990年代後半から急速な伸び

大学図書館における実態(続き)

- 「大学改革と大学図書館の学習・教育支援機能 - アンケート調査結果 - 」(平成13年2月実施)
 - <http://www.cl.aoyama.ac.jp/~tnozue/ugl/report.html>
 - 大学図書館研究プロジェクト(代表:三浦逸雄)
 - 学習・教育活動を支援する大学図書館サービスの実施状況
 - 新入生オリエンテーション
 - 436館(92.8%)
 - 図書館内での文献利用指導
 - 407館(86.6%)
 - 授業における文献利用指導
 - 253館(53.8%)

大学図書館における実態(続き)

- Googleで検索「情報リテラシー 大学図書館」
 - 1,140件(平成15年7月4日)
 - 論文, 報告, 講演, 大学図書館のホームページにおける広報

外的要因

- 大学教育改革のながれ
 - 大学設置基準の大綱化(1991)
 - 大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革について」(1998)
 - 大学審議会答申「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について」(2000)
- 電子図書館的機能に対する要請
 - 学術審議会建議「大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について」(1996)

大学設置基準の大綱化(1991)

- 大学教育改革のきざし
- カリキュラム改革, 授業評価, 教授法の改革, 講義概要(シラバス)作成

21世紀の大学像と今後の改革について(1998)

- 4つの理念
 - 課題探求能力の育成
 - 教育研究システムの柔構造化
 - 責任ある意思決定と実行
 - 多元的な評価システムの確立

グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について(2000)

- (情報リテラシーの向上)
 - 「・・・大学教育においては、学生に、グローバルな広がり、主体的に情報を収集し、分析し、判断し、創作し、発信する能力を養うことが不可欠である。その際、情報モラルや、情報機器及び情報通信ネットワークの機能にかかわる基本的知識や能力の習得を重視することが必要である。」

大学図書館における電子図書館的機能の充実・強化について(1996)

- 「・・・大学図書館は、これら電子的教材作成、情報リテラシー教育及び学生の自主学習等に対する支援において、その一翼を担うことが求められている。特に、学生向けの利用者教育は、情報リテラシー教育の一環として、大学図書館の協力の下に、全学的に取り組むことができるよう、教育体制の整備が必要である。」

内的要因

- ハイブリッドライブラリにおける利用者支援体制の必要性
- 受動的利用者支援と能動的支援の相互補完

ハイブリッドライブラリにおける利用者 支援体制の必要性

- 図書館のハイブリッド化
 - 資料媒体のハイブリッド化
 - 紙媒体, 電子パッケージ(CD-ROM, DVD等), オンライン情報
 - 所在場所(ロケーション)のハイブリッド化
 - 物理的図書館(自館, 他館), ネットワーク(インターネット)
- 利用者教育から情報リテラシー教育への脱皮

受動的利用者支援と能動的支援

- レファレンスサービス
 - 利用者からの問い合わせを待つ(受動的)
 - 利用者からの個々の具体的な情報要求に応じて随時対応
- 情報リテラシー教育
 - プロアクティブな(先取り型)利用者支援(能動的)
 - 予め体系的, 組織的, 計画的な支援を行う
 - 自立した利用者の育成

事例の紹介 (千葉大学附属図書館)

組織体制

- 情報サービス企画係(情報サービス課)の新設(平成12年4月)
 - 閲覧係, 参考係 閲覧・参考係, 情報サービス企画係
 - 定員2名
- 事務分掌規程
 - 情報リテラシー教育の企画立案に関する事。
 - 電子情報の運用及び利用普及に関する事。
 - 集合教育による利用案内及び利用指導に関する事。
 - 本館に係る資料の展示に関する事。
 - 広報及びホームページ(センターを含む。)に関する事。
 - 所掌事務の調査統計に関する事。

情報リテラシー教育のタイプ

- 図書館利用・情報検索ガイダンス
 - <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~kikaku/guide/guidance.html>
 - 図書館主催ガイダンス
 - 図書館が独自に企画する各種講習会
 - 学部学科・グループ別講習会
 - 授業内容に応じた講習会
 - 授業支援
 - 普遍教育科目『情報処理』支援

図書館主催ガイダンス

- 初級プログラム(新入生～2年生向け)
 - 新入生オリエンテーション
 - 図書館利用の基礎
 - 利用者用コンピュータの利用法, 図書館ウェブページの紹介, OPACの使い方
 - 情報検索の基礎
 - 論理演算等検索方法の基礎
 - ウェブのレファレンスツール, 新聞・雑誌記事検索

図書館主催ガイダンス(続き)

- 中上級プログラム(3年生～院生向け)
 - 分野別データベースの検索方法
 - 電子ジャーナルの活用方法
 - 情報の評価と整理(論文作成支援)
 - EndNoteと文献管理
 - 引用の技術
 - プレゼンテーション入門

学部学科・グループ別講習会

- 教員からの依頼により実施
 - オーダーメイドの講習会
 - 授業の1コマを図書館での演習・実習等に当てる
 - 要望に沿った内容を教員と計画
 - 授業内容に沿った情報検索ツール, データベースの検索方法
 - 検索実習
 - 当該分野における館内の重要資料の紹介
 - etc.

授業支援

- 普遍教育『情報処理』の「情報検索入門」を担当
- 授業内容
 - 情報検索とは？
 - 情報要求の発生
 - 情報の探索
 - 検索方法入門
 - キーワードの選択, 前方一致, 論理演算, 再現率と精度
 - 情報の入手
 - 図書館の利用
 - 課題の出題

企画

- **実施時期・スケジュールの策定**
 - 2月に前期(4月～7月)分の計画立案
 - 8月に後期(10月～12月)分の計画立案
- **内容の決定**
 - 基本プログラムを元にして, 目玉となる新ツールのプログラムを盛り込む
 - 要望の多い分野を中心としたプログラムを組む
 - etc.
- **形式の選択**
 - 講義 + デモ形式か, 演習形式か
- **実施会場の確保**
 - ライブラリーホール(講義)
 - リテラシー研修室(演習, PC10台配備)
 - 総合メディア基盤センター演習室(演習)

実施のための準備

- シナリオの作成
 - 話の流れとポイントの確認
- スライドの作成
- 配布資料の作成
- 機器の準備
- 受付, アンケートの準備

広報

- インターネット
 - ホームページ
 - ウェブニュース
 - <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~ibgaku/www/info/books@ovid.guid.news.htm>
 - メールマガジン
 - Library Mail Alert
- 紙媒体
 - ポスター, ちらし

アンケートとフィードバック

1. 今日の講習会で役に立ったことはありますか？
2. 今日の講習会で既に知っていたことはありますか？
3. 今日の講習会で知りたかったのに教えてもらえなかったことはありますか？
4. 今日の講習会でわかりにくかったことや不明な点がありますか？
5. 情報検索・文献検索に関して他に知りたいことはありますか？
6. どのようにしてこの講習会を知りましたか？
7. 他にご意見があればお書き下さい。

日常的な準備

- 情報提供
 - 新しいツールや機能に関する情報提供
- 各ツール類の検索方法の修得
 - データベースや電子ジャーナルの使い方
- サポート資料の作成
- ウェブ上での各種ガイド

サポート資料の作成

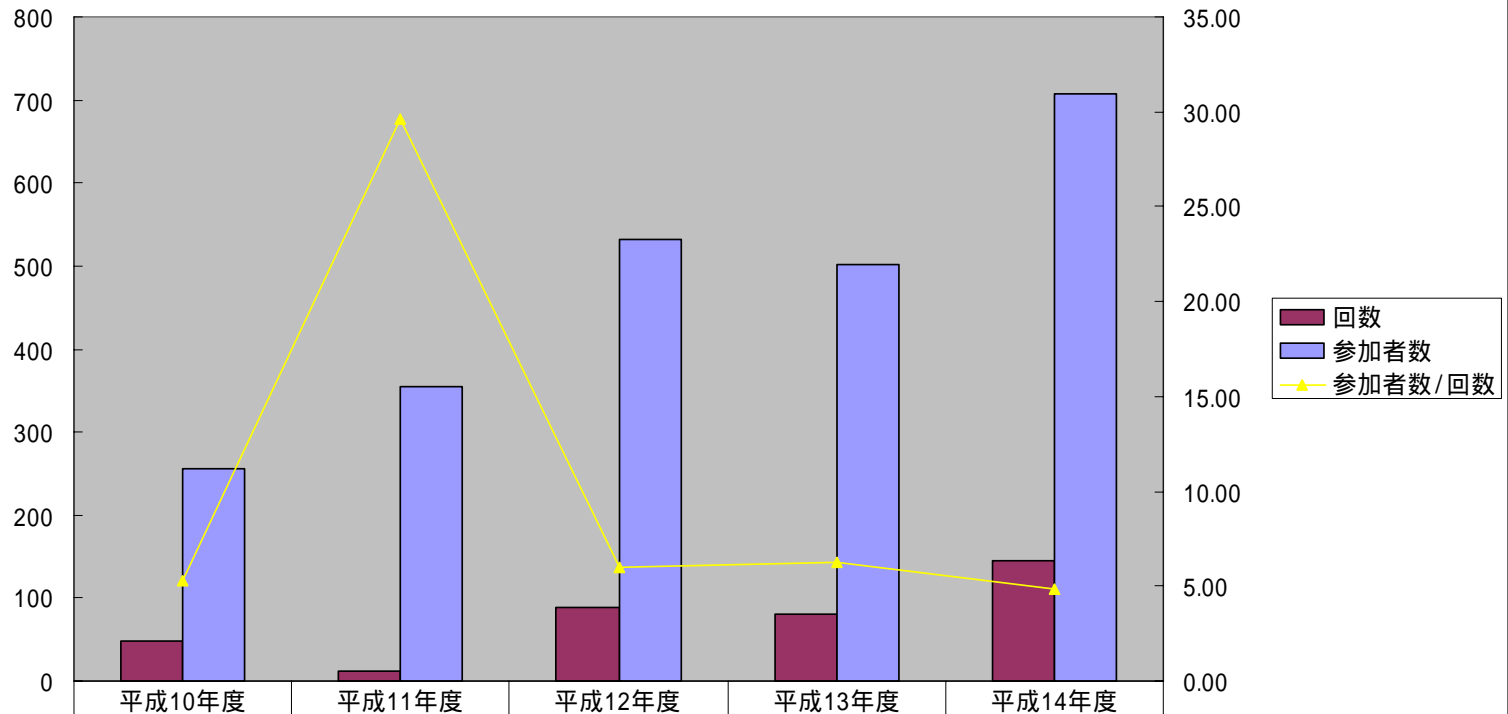
- 紙媒体のパンフレット類
 - 検索ツールやデータベースの検索方法
 - 分類, 著作権の知識
 - ファイルの操作, 学内ネットワークへの接続
 - インターネット利用上の注意
 - 図書館利用に関する知識の啓蒙

ウェブ上での各種ガイド

- オンラインマニュアル
 - <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~kikaku/guide/manual.html>
- ナビゲーションのページ
 - 千葉大学情報資源(分野別)
 - http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~kikaku/net/link_all.html
 - ワールドワイドに本を探す！
 - <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~kikaku/net/search.html>
 - 電子ジャーナルのページ
 - <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/~kikaku/online/EJ/el-journals.html>

統計

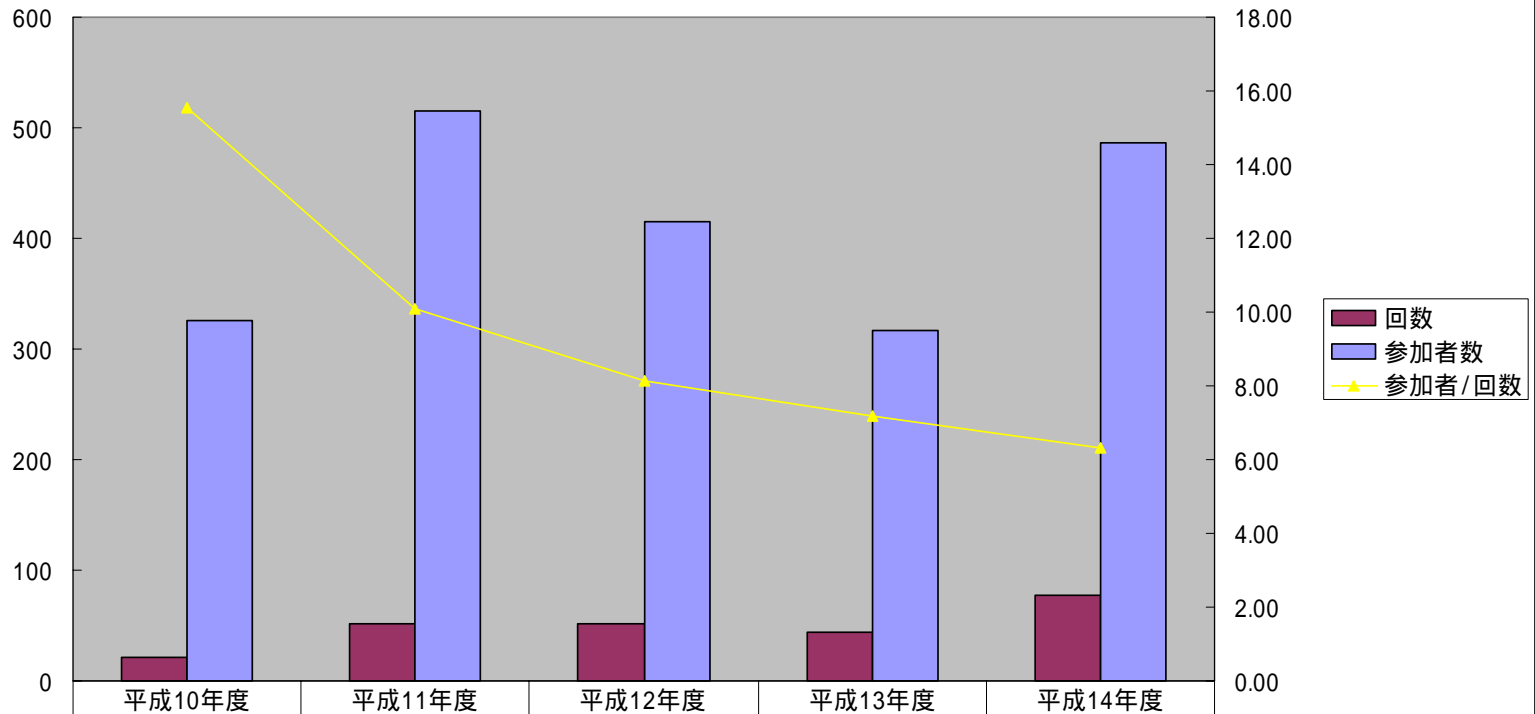
新入生オリエンテーション



回数	48	12	89	80	145
参加者数	255	355	532	502	707
参加者数/回数	5.31	29.58	5.98	6.28	4.88

統計(続き)

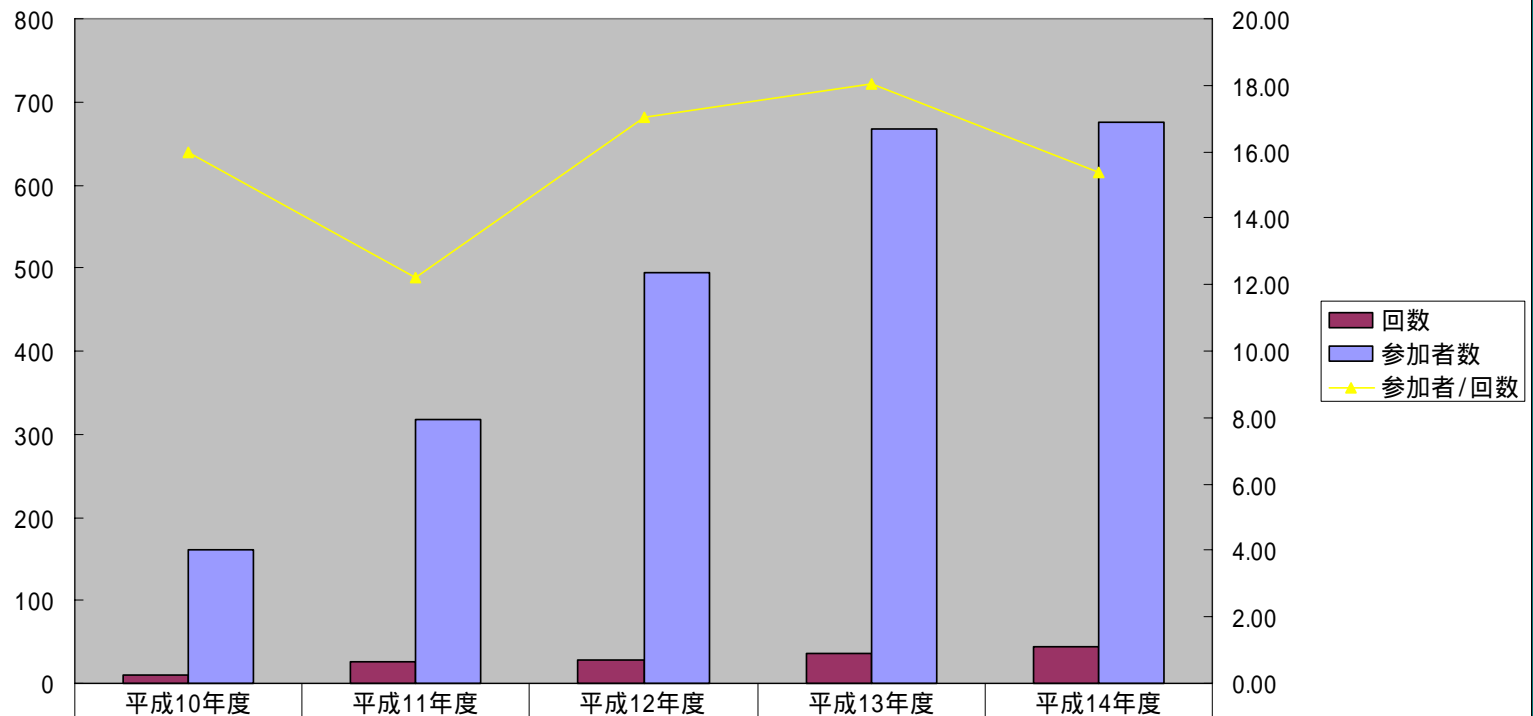
図書館主催ガイダンス



回数	21	51	51	44	77
参加者数	326	515	415	316	486
参加者/回数	15.52	10.10	8.14	7.18	6.31

統計(続き)

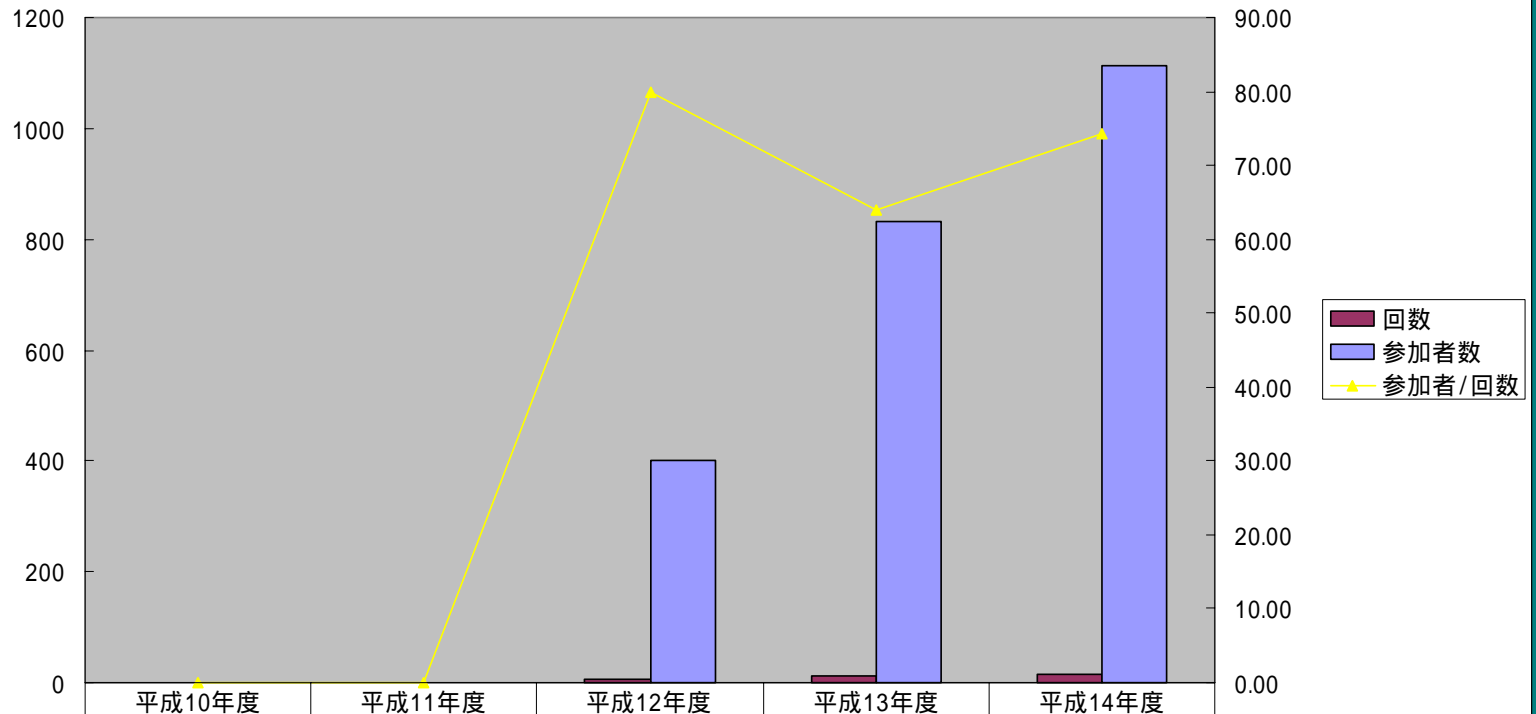
学部学科・グループ別講習会



回数	10	26	29	37	44
参加者数	160	318	494	667	676
参加者/回数	16.00	12.23	17.03	18.03	15.36

統計(続き)

授業「情報処理」支援



回数	0	0	5	13	15
参加者数	0	0	400	832	1,113
参加者/回数	0.00	0.00	80.00	64.00	74.20

問題点

- 図書館主催型講習会の浸透
 - 効果的な広報の必要性
 - 図書館だけの努力では限界 教員(授業)との連携
- 人員の育成
 - 担当係の負担大 全館体制の可能性検討
 - 必要な知識・技能
 - 電子情報に関する知識, 資料作成能力, デモ用機器類・ソフトウェアの知識, ネットワークの知識, プレゼン技術
- 評価

課題と展望

教育プログラムの確立

- ガイドラインに基づく安定したプログラムの確立
- ガイドライン例
 - 米国大学研究図書館協会 (Association of College and Research Libraries: ACRL)
 - 『高等教育のための情報リテラシー能力基準 (Information literacy competency standards for higher education)』 (2000)
 - 『情報リテラシー教育のための目標 (Objectives for information literacy instruction)』 (2001)
 - 日本図書館協会
 - 図書館利用教育ガイドライン - 大学図書館版 (1998)

図書館利用教育ガイドライン - 大学 図書館版 -

- 目標と方法
 - 領域1： 印象づけ
 - 領域2： サービス案内
 - 領域3： 情報探索法指導
 - 領域4： 情報整理法指導
 - 領域5： 情報表現法指導

担当者の育成・サポート体制

- 国立大学図書館協議会電子ジャーナル・タスクフォース「電子ジャーナル利用者教育担当者研修会」
 - 目的
 - 電子ジャーナルの利用者教育担当者の育成
 - 平成13年8月, 14年8月に東西両地区にて開催
 - 国立大学附属図書館のユーザー教育担当者, 計250名が参加
 - 15年度以降は, NIIと国大図協の協力による「電子情報担当者研修」に引き継がれる?

担当者の育成・サポート体制(続き)

- 情報リテラシー教育担当者研修
 - 国大図協・研修プログラム再構築プロジェクトチームからの提案
 - NIIとの共同研修事業
 - 対象
 - 大学図書館職員等で、情報の利活用についてオリエンテーション、説明会、講習会、ワークショップ等の担当者
 - 形式
 - 講義、演習、ディスカッション
 - 開催回数
 - 年3回程度

担当者の育成・サポート体制(続き)

- 情報リテラシー教育担当者研修プログラム(案)
 - 情報リテラシー教育の必要性・背景についての理解
 - 学術論文の作成に係わる諸事項についての理解
 - 情報リテラシー教育のガイドラインについての理解
 - 利用者の情報利用行動についての理解
 - 情報倫理についての理解
 - NII及びJSTにおける情報サービスの理解
 - 大学における教育プロセスとの連携についての理解
 - オリエンテーション, 講習会の企画, 実施方法についての理解
 - オンラインチュートリアルについての理解
 - 効果的なプレゼンテーション方法についての理解
 - 共同レファレンスなど先進的な試みに対する理解
 - ディスカッションの時間

担当者の育成・サポート体制(続き)

- 情報リテラシー教育担当者の輪
- 海外の参考例
 - ACRL Information Literacy website
 - ウェブサイトによるさまざまな情報提供
 - メールングリストの運営
- 日本での取り組み
 - LLResource ~ ライブラリー・リテラシーのためのリソース集 ~ (江上敏哲氏)
 - <http://ha6.seikyou.ne.jp/home/egami/llresource/llriindex.htm>

授業(教員)との連携

- 授業に沿ったオーダーメイド型ガイダンス
- 意義
 - 受講の動機付け
 - 図書館サービスの向上
 - 図書館員の資質の向上
 - 図書館に対する評価
- 阻害要因
 - 図書館の「余力」不足
 - 学内での図書館員の地位, 位置づけ
 - 教員側の偏見

オンラインチュートリアルを活用

- オンラインチュートリアルとは
 - 自学自習を目的とした一種のオンライン学術情報活用ガイド
- 情報リテラシー教育活動支援のためのツール
 - 自学自習
 - 講習会, ガイダンスでの利用
 - リテラシー担当図書館員の育成

VTS (Virtual Training Suite)

- <http://www.vts.rdn.ac.uk/>
- 英国のRDN (Resource Discovery Network) が提供する60の主題別チュートリアル
- チュートリアルの構成
 - Tour (主題に関する代表的なサイトの紹介)
 - Discover (情報資源発見のための代表的ツールと検索テクニック)
 - Judge (インターネット情報資源の評価方法)
 - Plan (学習・研究活動の上で、インターネットを活用する具体的方法)

TILT (Texas Information Literacy Tutorial)

- <http://tilt.lib.utsystem.edu/>
- テキサス大学図書館が提供するチュートリアル
- 6つのトピック
 - Introduction (導入)
 - Module1: Selecting (様々な資料タイプとどのような局面で利用するのが最も有効であるか)
 - Module2: Search (検索技法)
 - Module3: Evaluating (自分の研究に適した資料の判断法)
 - Follow up (問い合わせ先等の案内)

ブリティッシュ・コロンビア大学図書館

- <http://www.library.ubc.ca/home/instruct/>
- Library Orientation for Architecture
 - 建築学を学ぶ学生のためのチュートリアル
 - WebCT
 - 構成
 - Introduction (導入)
 - Researching (調査研究のステップと資料の特性, 検索技法)
 - Journal Articles (雑誌論文の探し方, UBCで利用できるEJ)
 - Beyond the Basics (特殊資料, 視聴覚資料, インターネット上の情報資源)
 - Evaluate & List (評価と引用文献の書き方)
 - Time Saver Tips (図書館利用のヒント)
 - Library Glossary (基本的な図書館用語集)

おわりに

コア・コンピタンスとしての情報 リテラシー教育

- コア・コンピタンス
 - 「企業が競合他社に対して圧倒的に優位にある事業分野や他社にはない独自の技術やノウハウを集積している中核となる部門やサービス」
 - アウトソーシングされない部門
- 「情報リテラシー教育」= 図書館のコア・コンピタンス